

# 南スーダン陸自5人拘束

## 政府軍が「誤解」、解放

防衛省は18日、南スーダンの隊員5人が18日午前10時、南スーダン政府軍に一時拘束されたと発表した。約1時間後、首都ジュバで調達業務中、に解放されて宿営地に戻り、け

がはなかった。隊員は銃を携行しており、武器取り締まりをしていた兵士が、国連要員が対象外と知らず拘束した。南スーダン政府は日本側に「誤解があった」と謝罪した。

防衛省によると、一連の活動で陸自隊員が拘束されたのは初めて。過去のPKOでも同様の事案は把握していないとしている。日本が参加する唯一のPKOで、安倍晋三首相が10日、陸自を「5月末を目途に活動を終了させる」と表明したばかりだった。

防衛省によると、5人は日ハ市内の宿営地から南に約1・5キロ離れた商店でレクリエーション用に現地の衣類を購

入中、武器取り締まりの尋問を受け北に約2・5キロの広場に連行された。日本大使館が政府軍と協議し解放された。大使の申し入れを受け、南スーダン政府は「一部兵士の誤解だった」と謝罪したという。